

ケーススタディ： 尿路感染症率を 低減

Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager を活用して、
いかに「尿路感染症（CAUTI）率を低減」するための
質改善プロジェクトを促進したか

課題



Ovid® Synthesis
Clinical Evidence
Manager は
施設全体にまたがる
プロジェクトをひとつの
ビューで提示できる
ソリューションです

米国における2020年7月～12月までのICU患者を含むフォーリーカテーテル関連尿路感染症（CAUTI）の院内感染率は5%であり、50パーセンタイルを上回りました。看護スタッフは、必要なときに医師がカテーテルを抜去するよう指示しないため、カテーテルの留置時間が長期間化していると考えていました。

米国看護の質指標データベース（NDNQI）の2021年第1四半期における内科・外科病棟に関する四半期データによると、感染件数はカテーテル留置日数1,000日あたり10.04件でした。そこであるチームが、「フォーリーカテーテルを留置している入院患者の場合、カテーテルを最短で抜去するには、看護師主導のプロトコルについて何を検討すべきか？」というエビデンスに基づく疑問に答えるべく、質改善（QI）プロジェクトを開始することになりました。

QIチームは、そのようなプロトコルが存在するのかわからなかったため、このプロジェクトを効率的に行うための方法を必要としていました。プロセス全体を管理する単独のプラットフォームがなかったため、チームメンバーが過去の研究を再現してみたところ情報やドラフトを共有するのが難しいことに気づき、チームの推奨の基盤となる質の高い研究データにアクセスできているのかもわかりませんでした。せっかくの取り組みも、一貫性を欠いては時間がかり過ぎ、高い院内CAUTI率にも影響を与えることのない結果しかもたらしません。

チームは、病院全体の臨床における質改善プログラムを強化しつつ、このCAUTI率低減プロジェクトを最初から最後まで簡潔にまとめられる単独のソリューションを必要としていました。

ソリューション：Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager

QIチームは、アクセスおよび習得が容易であること、QIプロジェクトを一元化し、個別のワークストリームを排除できる、という理由から、Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager を採用しました。チームメンバーは誰でも、プロジェクトダッシュボード上ですべての段階をモニタリングすることができ、エグゼクティブレベルのダッシュボードでは経営陣が、本プロジェクトや進行中のプロジェクト、あるいは過去のプロジェクトすべてを俯瞰することができます。

Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager は、誰もがより効率的にプロジェクトを遂行できるようリマインダやTo-Doリストを備えています。チームメンバーはどの段階においても、プロジェクトにアクセスしコメントすることができました。

アプリケーションから離脱することなく検索可能な統合文献検索機能によって、時間を節約することもできました。また、公開済みの文献からCAUTIの問題や介入に適用可能な知見も特定

できました。

MEDLINE®およびOvid®の契約コンテンツから取得した何件かのフルテキスト論文について、知見から得た学びとしてチームに知らせ議論しました。これらすべてが同ソリューション内で完結できるのです。

Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager の文献レビューツールは、プロジェクトチームが文献検索によって明らかになった補足資料を特定するのに役に立ちました。本ソリューションがこれら補足資料 — *Clinical Infectious Diseases*, *American Journal of Infection Control*, *Clinical Nurse Specialist*®, *Pediatric Quality and Safety* といった刊行物 — の内容をエビデンス表として変換してくれたことで、チーム一丸となって研究を評価することができました。文献レビュー機能では、「看護師主導の protocols が含まれる」など、チームメンバーが記したメモを取り込むことができました。本ツール内にはフルテキストが保存されており、必要に応じて追加ドキュメントをアップロードできるので、院内CAUTIプロジェクトチームはすぐに結論に達しました。

引用の自動管理、実装に向けた事例構築を支援するサンプルフォーム、本アプリケーションのエビデンス表は、調査結果の要約に役立ちました。

- ICUおよび外科、内科領域でのフォーリーカテーテル早期抜去を推進する看護師主導の protocols が存在し、CAUTIの低減に有効であることが示された
- この結果は、ケアチーム内の連携や信頼関係を強化する職場文化に依存する

結果

Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager は複数の出力形式に対応しており、小規模ながら多数の研究によりCAUTIが大幅に低減 — 40%から80% — したことが実証された旨を容易に伝えることができました。実績のある適切に実装された protocols の影響は大きく、リスクも低いことから、CAUTIの低減は患者はもちろん病院、さらには医療システム全体においても多大なメリットがあると考えられます。

CAUTIが患者にとって害をなしうることで、結果としてコスト増を招く要因となることはエビデンスにより明らかであり、**ICUや内科・外科領域担当の看護・医療スタッフ全体で看護師主導のフォーリーカテーテル抜去 protocols を開発することにより、その効果はすぐに結果として現れるであろうと考えられます。**QIプロジェクトチームは本アプリケーションを活用して、改善策を推進するための必要事項もリストアップしました。

- 責任者としてチーフナーシングオフィサーおよびチーフメディカルオフィサーが必要
- 諸専門分野からなる改善チームの設置
- 既存の protocols 評価と、当院への適用
- 分析およびQIの専門的サポートを特定
- 委員会による承認
- 試案および指標の設定
- 事前・事後検査の実施
- 試案の実施
- 結果の共有

Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager

Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager は、施設全体にまたがるプロジェクトをひとつのビューで提示できる唯一のソリューションです。プロジェクトワークフローを管理し、QI、EBP、および研究プロジェクトでの文献検索と評価をより効率的にすることで、質の高い、かつ最新研究の洞察に基づく臨床現場における改善へと導きます。

ウォルターズ・クルワーのカスタマー・エンゲージメント・チームは、実装、トレーニングをはじめとするお客様の様々なニーズに対し、個別にカスタマイズしたサポートを提供いたします。

詳細は、Ovid 営業担当者または
Ovid-Japan@wolterskluwer.com
までお問い合わせください

<https://lead.me/ovid-synthesis>

